

須恵

これ知っとう? わが町の宝物 第8回

お地蔵様まつり

時代は移り変わっても、守り続けていきたい自然・歴史・文化・人…
須恵町の大切な宝物をご紹介します。



甲植木区には、「男地蔵」「女地蔵」と呼ばれるお堂があります。

道林寺の白壁の角にある小さなお堂には、左手に宝珠、右手に錫杖を持ったお地蔵様が祀られています。これが「男地蔵」です。

そして、甲植木公民館前の道沿いにある小さなお堂に祀られているお地蔵様が「女地蔵」です。男と女の地蔵があるのは、町内では甲植木区のみです。

二つの地蔵堂は、歩いて5分ほどの距離にあり、地域の守り神として子どもたちの健やかな成長を見守り続けています。

毎年7月23日には、子どもたちがお地蔵様をきれいに磨いて、香・花・菓子・果物を供えて祭る「お地蔵様まつり」が百年以上続いています。祭りの準備をしたあと、男の子は男地蔵に、女の子は浴衣に着

替えて女地蔵にお参りをします。夕方ごろから子どもたちがお茶やお菓子を振る舞い、お参りに来た人々を接待します。

日が暮れると、子どもたちは花火を楽しみます。以前はお堂の前でしたが、今は第二小学校の校庭で行なっています。消防団の皆さんのお手伝いもあり、打ち上げ花火が夏の夜空を彩ります。

女地蔵



色とりどりの浴衣姿でお参りする女の子たち
須恵町大字植木452番地1

区の育成会が運営し、子ども同士・親子・地域が一体となって絆を深める祭りとなっています。今年は皆さんも「感謝」の念をもってお参りされてはいかがでしょうか。



道林寺閑樓 貝野東暎さんにお話を伺いました。(甲植木区)

男地蔵



須恵町大字植木297番地1

編集後記

甲植木区のお地蔵様まつりについて取材しました。急速に変化する時代の中、伝統は、人や地域によって、変わらずに受け継がれています。さて、3月議会では、新年度予算を審議し、すべての会計予算を可決しました。これにより、平成29年度の須恵町の事業が進行していきます。予算は「須恵町の財布」です。この大きな財布の中身が、どう使われ、それによりどう進み、どう変わるか…。財布の持ち主である町民の皆さまには、しっかりと見守っていただきたいと思えます。今号では、予算の概要や、これから進められる事業や工事について掲載しています。町民一人ひとりが町の行政を知り、考えていただくきっかけになればと思います。

三角米重

発行責任者

議長：三角 良人

広報特別委員会

委員長：今村 桂子
副委員長：白水 勝元
委員：合屋 伸好
委員：三角 栄重

3月定例会

主な内容

- 「教育」から「共育」へ……………2
- 平成29年度事業の目玉……………4
- 一般質問 6議員が登壇……………10
- 特集 どうなる!? ごみ処理……………16
- これ知っとう? (お地蔵様まつり)……………20

表紙シリーズ / 未来を担う子どもたち「はじまりの朝」



三角 良人 議長

「共育」へ

共に育つまちづくり～

オープンイノベーション事業を推進

「教育」から

～ひと・地域・企業が

3月
定例会

平成29年第1回定例会は、3月1日から16日までの16日間で行われ、審議の結果、提案された議案25件を原案のとおり可決しました。

『産官学金労言』をまちづくりの根幹に



■平成29年度一般会計当初予算

平成29年度一般会計当初予算は83億5千万円で、前年度に比べ、7億1千万円の減額(△7.8%)となりました。

歳入

町税は、前年度比1.9%増、約5900万円の増収を見込んでいます。

依存財源は、財源の半分以上を占め、国や県の交付金に頼っている現状にあります。また、財源不足に充てるため、財政調整基金から5億1千万円を繰り入れます。

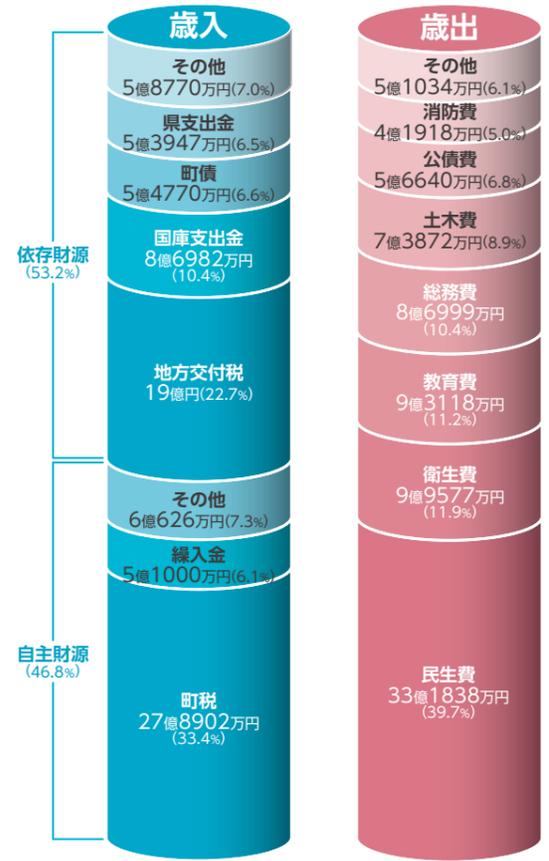
歳出

児童手当、障害者福祉費等の扶助費が年々増加し、予算額を押し上げる要因となっています。

繰入金は、公共下水道事業特別会計、国民健康保険特別会計、介護保険広域連合などへ、合わせて13億8100万円となりました。

平成29年度の主な事業は、4～5ページ「事業の目玉」で紹介しています。

一般会計 前年度比 7.8%減
83億5000万円



財政調整基金繰入金 (貯金の取り崩し)
5億1000万円

町債 (借金)
5億4770万円

債務負担行為
オープンイノベーションセンター(仮称)内装他リース
平成29年度～34年度
5000万円

※債務負担行為とは
1つの事業や事務が単年度で終了せず、後年度においても負担(支出)が必要になる場合に、あらかじめ後年度の債務を決めておくこと。

※すべてのページにおいて金額は1万円未満を切り捨てています。

須恵町に住む価値を創造 オープンイノベーションで創る これからの須恵町

オープンイノベーションとは

地域の活性化や課題解決のため、企業や大学などが持つ技術・アイデア・サービス・知識などを組み合わせ、取り入れることで、新たな価値を生み出す手法のこと

須恵町の地方創生の方向性

須恵町の地方創生をさらに加速化させ、町の魅力や稼ぐ力といった新たな付加価値の創出のため、「オープンイノベーション戦略推進事業」が進められています。

まちづくりの基盤を「教育」から「共育」へと進化させ、あらゆる知恵・力・志をつなぎ、「共育」により、ひと・まち・しごとを育てることを目指しています。

これまでの取り組み

28年度は、ワーキンググループを設置し、企業の代表者や商工会・農業関係者等と、実現のためのディスカッションを重ねられました。また、交付金を活用して、事業の拠点となる「オープンイノベーションセンター(仮称)」の建設に取りかかりました。



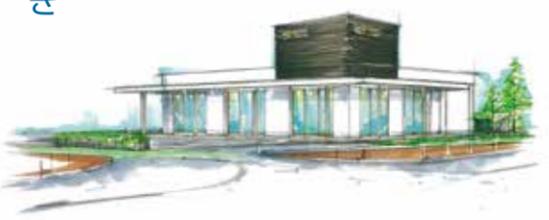
須恵中央駅前に建設が進む

今後のごねね

29年度当初予算では、センター内装他リース料や、備品購入費として約1250万円が計上されました。前年度に議論された課題を踏まえ、町内企業が抱える諸問題解決に向けて、具体的な支援が行われる計画です。

須恵町の未来への足がかりに

効果が現れるまで時間を要する事業であり、推進にあたっては相当な努力が必要と考えます。しかし、これからの須恵町が、税金や交付金のみで頼ることなく、自ら稼ぐ力を身につけるために、大きな一歩を踏み出したと言えます。



センター完成イメージ

平成29年度

事業の目玉

防災拠点施設の整備

8734万円

防災

城山区公民館の建て替えに伴い、城山防災会館（仮称）を建設します。

公民館の機能とあわせて、地震や風水害などの災害時には、自主防災組織の活動拠点として活用できるよう、備蓄倉庫や資機材庫等を整備する計画です。



充実した施設に期待

コミュニティバスルート変更

166万円

交通

須恵町コミュニティバスのルートを変更します。

①新生公園ロータリー内にバス停設置
西鉄バスとの結節点（乗継ぎ）としてロータリー内にバス停を設置します。

②県道志免須恵線にバス停設置（県と協議中）
近年、小売店の進出が続いているため、買物移動の利便性向上を目指し、県道志免須恵線（旅石地区）にバス停設置を検討しています。



もっと便利に（新生公園ロータリー）

子どもの居場所づくり事業

60万円

子育て支援

須恵っ子ルーム（定員30人）

夏休みなど長期休業中の留守家庭児童（小学生）を対象とした子育て支援事業です。

28年度から実施し、夏休み14人・春休み31人と、参加が増えてきています。29年度も引き続き、シルバー人材センターに委託して実施します。



さまざまなプログラムを実施

佐谷浄水場～第二浄水場緊急時用連絡管布設工事

1億5180万円

上水道

緊急時に、安定した水道水の供給を図るため、佐谷浄水場から第二浄水場までの連絡管を布設する工事です。

27年度に着工し、本年度（3カ年）で完了する予定です。29年度は、佐谷浄水場と佐谷橋付近の2カ所にポンプ室を築造し、これまでに埋設した連絡管と繋ぎ合わせます。



緊急時にも対応

小学生の登下校情報把握システム「ツイタもん」導入

※予算計上なし

安心・安全

※業者により無償で提供されるため、予算計上はありません。

児童の登下校状況を把握するシステムです。

児童のカバン等にタグを付け、校門を通過することで、確認ができる仕組みです。監視カメラも設置され、子どもの様子が記録されます。

また、情報が必要な保護者には、有料でメール通知をすることも可能です。



システムイメージ
（『ツイタもん』リーフレットより）

第三学童保育所施設整備事業

1874万円

現在、第三小学校の空き教室を利用して保育が行われています。年々、利用希望者が増え、28年度は新一年生の待機児童が発生しました。

旧アザレア幼稚園にここにこルームの一部を改修して第三学童保育所を移動し、定員の拡充を図ります。



定員拡充に向けて

プレミアム付商品券発行事業（商品券・住宅リフォーム券）

2999万円

地域振興

地域振興に貢献する町内小売店・飲食店・事業所で使用できるプレミアム付商品券（住宅リフォーム券を含む）を発行します。

地域の消費を喚起し、消費者の生活支援および地域経済の活性化を図るため、福岡県の交付金を活用して行う事業です。

販売事務を須恵町商工会に委託し、町は、プレミアム率分と事務経費を助成します。

発行詳細（予定）

- 販売総額（プレミアム分含まず）
商品券 7000万円
リフォーム券 7500万円
- プレミアム（割増し）率 20%
- 販売方法 専用ハガキでの申し込み（応募多数の場合は抽選）
- 抽選日 平成29年7月中旬予定



※昨年のポスターです。今年度の販売内容とは異なります。

平成29年度 特別会計・水道事業会計 当初予算

●国民健康保険特別会計

38億1600万円
前年度比 4300万円増(+1.1%)
平成29年度から国保税率を改定することに伴い、国保税が増加。
被保険者数は減少しているが、一人当たりの医療費、医療費総額は増加傾向にある。
平成30年度からは、県が財政運営主体となるため、県と共同運営に関する協議を重ねている。

賛成多数
可決

●後期高齢者医療特別会計

3億1200万円
前年度比 3100万円増(+11%)
被保険者数の増加および保険料の軽減見直し等により保険料収入の増が見込まれる。

賛成多数
可決

●公共下水道事業特別会計

11億700万円
前年度比 7100万円減(-6.0%)
前年度に比べ、管渠築造工事等が減。
平成28年度末の下水道普及率は84.6%。

全員賛成
可決

●農業集落排水事業特別会計

7900万円
前年度比 200万円増(+2.6%)

全員賛成
可決

●水道事業会計

収益的支出:5億5514万円(-4.5%)
資本的支出:3億9177万円(+21.5%)
緊急時に水道水を安定供給するため、3カ年事業で行っている連絡管布設工事(佐谷浄水場~第二浄水場)が、平成29年度で完了。

全員賛成
可決

Q&A

予算審査特別委員会の質疑から

29年度分・一部抜粋

議長を除く議員全員(13名)で構成される予算審査特別委員会において、新年度予算の審議を行いました。

介護保険 負担金増の要因は?

Q 介護保険本部負担金が増えているが、その要因は?

A 健康福祉課長

介護認定を受け、サービスを利用する人が増えたことにより、介護給付費が増大したため。

コミュニティバス 予算削減対策は?

Q コミュニティバスの路線見直しに伴い、かなりの費用がかかるが、今後、小型化など別の方法も検討した方が良いのでは。

A まちづくり課長

公共交通の状況を踏まえ、町全域をカバーできるように、適宜見直しを行っている。
運転手不足の問題もあり、普通免許で運転できる小型バスの導入を前向きに検討していきたい。

ふるさと納税 今後の方針は?

Q 須恵町は特産品が少ないが、返礼品の予算組が必要か。ふるさと納税だけが、ひとり歩きしているように感じる。

A 町長

良い返礼品がある自治体に寄附されているのが現状。ふるさと納税の本来の趣旨は、出身地や、頑張っている自治体に寄附すること。制度の歪みが生じているため、国は制度変更を検討している。
昨年度(平成27年度)は、約400万円が町外へ寄附されており、須恵町への寄附を増やすための施策を行っている。

まちづくり推進 どんな事業を?

Q まちづくり推進業務等委託料の詳細は?

A まちづくり課長

平成28年度は、補助金を活用して、第二小学校区で魅力発見事業を行い好評を得た。
平成29年度も継続して行う予定であるが、内容を充実させて実施できるように検討していきたい。

第二学童移転 定員は十分か?

Q 第三学童保育所の収容人数は、須恵町では、児童数が増加しているが、将来を見込んで計画しているか。

A 子ども教育課長

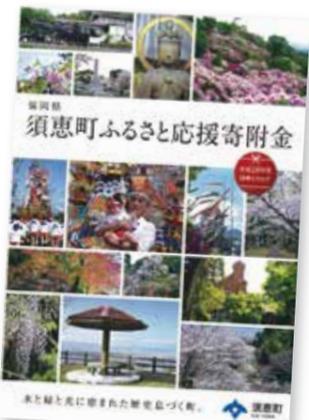
現在、定員40人に対し、それ以上の申し込みがあつている。定員を倍に増やし、80人まで受け入れられるよう検討している。

下須恵1号踏切 改良工事の内容は?

Q 町が工事費を負担するのは適切か。

A 都市整備課長

住民や地域からの要望により工事を行うもの。軌道敷(線路)内の枕木を連接型ブロックに変更する。JRが工事を行うが、踏切の構造を根本的に変える工事については、受益者である自治体が工事費用を負担する。



返礼品の一例
(須恵町産養生みそと陶翔窯のみそ壺セット)



地域振興イベント 補助金の内容は?

Q 地域振興イベント補助金が3倍になっている。内容は?

A 地域振興課長

軽トラ市に50万円、つつじまつりに100万円、つつじまつりの賞品として、郷ひろみさんのコンサート招待券の抽選を検討している。



意見(地域のいいところ)が続出



旧アザレア幼稚園にこころルームを改修

3月定例会 その他の 議案

平成28年度補正予算

各会計とも、年度末の決算見込額による調整が行われています。

一般会計

5億6300万円を減額

総額91億1028万円

(賛成多数で可決)

基金の取り崩しは

5億8400万円に

臨時福祉給付金給付事業費、工事請負費等の減額に伴い、財政調整基金からの繰り入れが800万円減り、28年度の基金取崩額は5億8400万円となる予定です。

これにより、基金残高(財政調整基金・減債基金の合計)は、約22億9846万円が確保される見込みとなっております。

特別会計

◆国民健康保険特別会計

1542万円を減額

総額 39億5004万円

(賛成多数で可決)

◆後期高齢者医療特別会計

2060万円を増額

総額 3億円

(賛成多数で可決)

◆公共下水道事業特別会計

5615万円を減額

総額 11億1624万円

(全員賛成で可決)

◆農業集落排水事業特別会計

60万円を減額

総額 7647万円

(全員賛成で可決)

水道事業会計

収益的収入 2000万円を増額

支出 704万円を減額

資本的収入 3620万円を減額

支出 3000万円を減額

(全員賛成で可決)

その他の採決結果

須恵町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 介護をする職員の時間外勤務制限の適用等の改正	全員賛成で可決
須恵町職員の育児休業等に関する条例の一部改正 育児休業の対象となる子の範囲の見直し等の改正	全員賛成で可決
工事請負契約の締結 須恵東中学校大規模改造工事(請負金2億2572万円)	全員賛成で可決
工事請負契約の変更 公共下水道事業 請負金の変更	全員賛成で可決
町営路線の認定 寄附および開発行為により新設された道路(6路線)を新規認定	全員賛成で可決
須恵町立図書館協議会条例の制定 図書館に対する意見を幅広く取り入れ、図書館の振興発展につなげるため	全員賛成で可決
須恵町表彰条例の一部改正 固定資産評価委員会委員を功労表彰の対象とするため	全員賛成で可決
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正 職員の級別職務分類表(4級・5級)の見直し	全員賛成で可決
須恵町税条例等の一部改正 地方税法の一部改正に伴う改正	賛成多数で可決
須恵町立社会教育施設設置条例の一部改正 スポーツ公園の位置表示を整理	全員賛成で可決
須恵町立社会体育施設の管理運営に関する条例の一部改正 スポーツ公園および旅石広場の使用料・使用者区分(町内・町外)の改定	全員賛成で可決
須恵町文化会館の設置及び管理運営に関する条例の一部改正 冷暖房の期間を限定することなく年間を通じて使用できるよう改定	賛成多数で可決
須恵町カルチャーセンターの設置及び管理運営に関する条例の一部改正 冷暖房の期間を限定することなく年間を通じて使用できるよう改定	賛成多数で可決

工事が行われます

29年度に施工される工事の概要を紹介します。

須恵東中学校大規模 改造工事(第二期) 2億6000万円

須恵東中学校は、平成元年の開校から28年が経過し、老朽化が進んでいます。

昨年度の第一期工事では、教室棟の外壁や内装の工事が行われました。

今年度は第二期工事として、夏休み期間中に、職員室側の特別教室棟の工事が行われる予定です。



第二期工事部分

須恵中学校 下水道接続工事 1100万円

公共下水道へ未接続だった須恵中学校は、下水道が供用開始されてから3年目を迎え、接続猶予期間の終了年となるため、平成29年度中に接続工事を行います。

夏休み期間中に施工完了予定です。



→ 下水道本管へ接続

道路・舗装改良工事 総額 1億3250万円

- 一番田地区4・5・6工区 …… 5600万円
- 一の浦～脇本線 …… 1600万円
- 内原～大谷線 …… 2400万円
- 城山上組4号線 …… 850万円
- イムタ3号線 …… 1500万円
- 新原～佐谷裏線 …… 1300万円



城山上組4号線

設備

小中学校エアコン設置は

設置が決まれば計画的に

以前の一般質問で「補助金がつけば設置する」と回答されました。

志免町では『学校施設環境改善交付金』の活用で、エアコン設置が決定しました。須恵町での設置は、機器購入・設置工事が約2億6千万円、年間の電気代が1200万円見込まれます。対応年数による機器の取り換えも必要で、交付金も低額であるため、財

政的には厳しい状況です。保護者の中には「多額の費用がかかるなら、エアコンを使用した月は、電気代の一部として使用料を一人100円ほど負担してほしい」との声も聞かれます。保護者へのアンケート実施や交付金を活用してのエアコン設置の計画はどうなっていますか。

答 安河内教育長
設置の根拠となる気象状況だけでなく、大気汚染等環境の変化によって整備が求められるのであれば、優先的にやらなければと考えています。補助金が採択されるかどうかは、不透明な部分もありますが、設置が決まれば、町の財

施設

久我美術館の活用と周辺の整備は

現状のまま活用

政事情も考慮し、計画的に整備を進めたいと考えています。使用料の徴収については、計画を策定する段階で、PT

Aと検討したいと思います。アンケート調査の実施は、現段階では考えていません。

問

久我美術館をもっと活用してもらうため、また安全・防犯の面においても、藤浦区側の駐車場から美術館までの電灯設置をいかがお考えですか。駐車場もイノシシに荒らされるなど、穴だらけです。コンクリート舗装または砂利を入れるなどの整備についてお尋ねします。

答 中嶋町長

久我美術館では、例外的に町美術クラブが、年2回ほど夜間に主催事業を開催してい

ます。利用頻度からしても主催者が照明や演出など特色ある方法で利用された方が、森の美術館としての期待が高まるのではないかと考えられます。駐車場は、上須恵区側、藤浦区側あわせて35台分を整備しています。未整備の部分は、通常は広場として利用しており、そこを舗装することは考えていません。美術館の活用については、九州造形短期大学と協賛して展示会を開催するなど、若い人たちの登竜門として利用していただいています。



答弁中の中嶋町長

○「問」については、議員が提出した要約文のとおり掲載しており、編集は行っていません。

ここが聞きたい！

一／般／質／問

○一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をただし、報告や説明を求めることです。

子育て

学童保育料の引き下げと指導員の待遇改善を保護者会の意向を尊重

問

県は生活が困窮している家庭を対象に29年度より小学生の放課後児童クラブ（学童保育）の利用料を減免する方針を固めました。対象世帯は原則無料にしたい方針です。

児童数はこの1年で約100人増加、入所児童数は228人で全小学生1887人の12%です。月額保育料は5千〜6千円、午後5時から6時

30分までの延長保育料は3千円です。子育て世代が安心して働けるよう学童保育を充実させるために、指導員・助成が必要で

答 中嶋町長

生活困窮者の学童保育費の助成については、県の説明では、まだ案の段階です。減免の根拠規定となる条例等の整備が前提となっていますので、正式な通知を待ちたいと思います。



児玉 求 議員

保育料の引き下げや指導員の待遇改善については、保護者会が運営しているため、改善が可能かどうか保護者会と協議したうえで、保護者会の意向を尊重したいと思えます。

情報

マイナンバー（個人番号）の記載がなくても確定申告の書類を受理するのか 受理している

問

全国中小業者団体連絡会（全中連）が1月26日、国会国税庁交渉でマイナンバー（個人番号）の記載がなくても書類を受理するし未記載に不利はない、総務省も通知書の番号不記載で自治体への罰則はないと回答しました。

マイナンバーの制度導入の本来の狙いは、国民の収入・財産の実態を政府がつかみ、税・保険料の徴収強化と社会保障の給付削減を押しつけることです。個人情報漏えい・なりすまし等、住民に不安を与えてはいけません。

答 梅野住民課長

確定申告は、他の法定利用事務と同様、マイナンバーの記載がなくても受理しています。情報漏えいについては、個人情報保護法よりも、もっと厳重な保護措置と罰則規定が定められています。担当者個々の事務の責任を明確化し、対策を講じていきたいと考えています。須恵町のマイナンバーカード申請率（平成29年2月末現在）は8.5%と、少ないため、町内の各種イベント等で普及促進に努めていきたいと思

教育

綱引きの普及を

導入は難しい

問

去る2月19日に第32回綱引き大会が開催され、10分館26チーム(うち小学生の部8チーム)が出場し、熱戦が繰り広げられました。本年は昨年比で、2分館6チームが減少しました。

綱引きは、古代オリンピックの種目であり、国民的スポーツとして根付き、須恵町は先行的に綱引きを取り入れ、綱

答 安河内教育長

引きの町として知られるようになりまして。さらに町のスポーツとして定着させるためにも、特に小学生からの取り組みが不可欠です。綱引きを通じて協調性が生まれ、連帯感も深まると思います。また、体力づくりの一環としても、小学校で取り組んではどうですか。

現在、県内でスポーツ綱引きを教育活動に位置づけている学校はありません。



世利 孝志 議員

学校教育の動向を見ると、今月末に小中学校の新学習指導要領が告示される予定で、平成30年度から試行、32年度には本

格実施となります。小学校では、新たに外国語科が新設され、3年生から6年生まで、週の学習時間が1時間ずつ増えることになっています。新学習指導要領の実施に伴い、学習時間の増加等が予測されますので、協調性や連帯感の育成、そして体力向上については、現行の教育活動をさらに充実させていきたいと思っています。したがって、スポーツ綱引きを新たに教育活動に導入することは、現時点では難しいと考えています。



親子で力を合わせて(綱引き大会)

町政を問う!

一/般/質/問

安心

緊急救命対策の充実を

コンビニに働きかける

問

地域や団体でAEDの講習が消防署の協力を得て盛んに行われています。

AED機器は町内であまり見かけませんが、公共施設や教育施設に設置されています。ほかにも病院などにはあるものと思いますが、いずれにしても、休日や夜間の対応などに課題があります。救命率の向上のためにも、

答 中嶋町長

24時間の対応が必要です。また、24時間営業のコンビニ等へ、AED設置の協力をいただければ、緊急時の救命率がさらに向上できると思われれます。町長のご見解をお伺いします。

高齢化社会を迎え、コンビニの持つ機能が買物だけでなく生活圏の中でどう利用するかが重要だと思

います。



田ノ上 真 議員

AEDは、現在役場庁舎を始め、町内15カ所の公共施設に設置されています。しかしながら夜間や土日は施設が閉まつており、活用できない状況も出てきます。福岡県では柳川

防災

新技術の活用は

広域での活用を模索

問

新技術である小型無人機「ドローン」の活用についてお尋ねします。

ドローンはすでに普及期に入っており、報道や様々な撮影現場で使用されることも多くなりました。その利点は、運搬はもとより、上空からの近接した撮影、多様な角度からの撮影が可能になることです。

今後、地勢やインフラ等の各種調査・災害などの現場調

査や防災対策に生かせるものと思えます。導入についてのご見解をお伺いします。

答 中嶋町長

活用頻度の問題もあり、糟屋郡中南部6町に1機あればいいと考えています。災害等を考えた場合、粕屋南部消防本部であれば、365日24時間体制で職員が常駐しており、ドローンの操縦技術を習得するなど、活用の頻度が高まるのではないかと思います。

答弁中の中嶋町長

生活

高齢者の運転免許証返納に関する支援策は

コミバスの充実を検討

問

須恵町の高齢化率(65歳以上人口)は、昨年の10月時点で約24・3%となり、今後も進む方向にあります。

高齢者のブレーキとアクセルの踏み違い等による運転事故は昨今テレビや新聞で報道されています。

須恵町では、まだ大きな事故には至ってはいませんが、高齢者が安心して免許証を返

納できるような支援策を実施していただきたい。

例えば、コミュニティバスの経路や時間帯、運行頻度などを見直し、病院や買い物、役場へ行くのに都合の良いものにする、タクシートの割引券を配布するなどです。

答 満行総務課長

返納後の具体的な支援策として、他市町村では、コミュニティバスの

利用があげられています。本町でもコミュニティバスを本格運行しており、65歳以上の方は無料となっています。

広域的な連携も模索し、管轄の粕屋警察署とも協議を行い、今後の対

策を検討していきたいと考えています。

答 中嶋町長

高齢者による交通事故は、社会問題にまで発展しています。その抑制策として、運転免許証の返納は有効な手段ですが、本人の自覚を促すこと

と、見返りの部分が大切だと思います。

現在、コミュニティバスはマイクロバス2台で運行していますが、細部にわたって動くのは難しいため、時刻表なしに、必要なときに呼んで利用できるバスなど、小型化を検討しています。



答弁中の中嶋町長



白水 勝元 議員

返納後の具体的な支援策として、他市町村では、コミュニティバスの利用があげられています。本町でもコミュニティバスを本格運行しており、65歳以上の方は無料となっています。



イラスト：警視庁ホームページより



運転経歴証明書

運転免許を受けていたことを証明するもので、運転免許証の自主返納を行った日から5年間、交付申請することができる。
←福岡県警察ホームページ

どげんなっとうと？

一／般／質／問

地方創生

まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況と今後の展望は 施設建設で加速化

問

現在、日本の人口は、1億2700万人、西暦2100年には、半分以上の5200万人になると予想されます。そのため、国は日本全国の自治体に、先を展望する「人口ビジョン」作成を義務づけました。

これを受け、須恵町においては、平成27年度から平成31年度の5年間で計画期間と

して、「須恵町人口ビジョン」を踏まえ「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。「産官学金労言」体制で作った総合戦略計画策定から間もなく1年が経過しますが、どこまで進みましたか。今後の展望を含めお尋ねします。

答 中嶋町長

須恵町の総合戦略を加速化させるために、須恵中央駅前、オープンイノベーションセンター(仮称)を建設中です。町内外で事業を営む方々を繋ぎ、新しい事業を生み出し、稼ぐ力を培うハブ機能を持った施設として運営することを目的とし

ています。

加速化交付金2千万円で躯体部分の工事を行い、平成29年度から5年間で5千万円の債務負担行為を起し、維持管理費として年間約88万円を計上しています。

また、収益については、喫茶部分の家賃収入とイノベーション事業成立時の諸収入等を考えています。

総合戦略計画に掲げる基本目標中の「雇用創出、結婚・出産・子育てに適した環境づくり」の進捗状況は、次のとおりです。

雇用創出については、町内企業の方々から、大学に求人募集をしても、来ていただけの人数が少ないといった現実的な問題も聞き及んでいます。町として情報提供不足を痛感しており、今後、PR事業の中で取り組んでいきたい



松山 力弥 議員



平成 28 年 3 月に策定された須恵町総合戦略

どうなる!?

もえる

今後のごみ処理



須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会視察レポート 平成29年1月31日～2月1日

1 クリーンパークわかすぎ (篠栗町)

須恵町のごみ処理

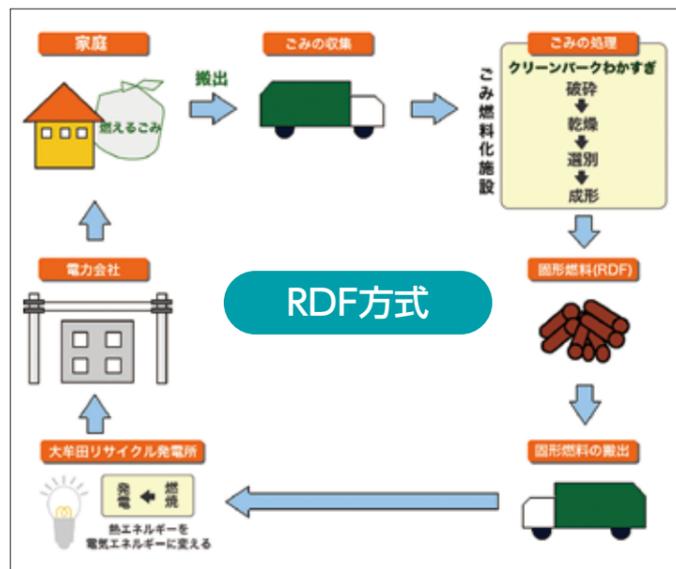
当町では、5町で対象人口約19万人のごみ等の処理を「須恵町外二ヶ町清掃施設組合」で行なっています。

クリーンパークわかすぎでは、可燃ごみを燃料化(RDF)し、大牟田の発電所に搬出し、資源ごみは売却しています。一方、し尿処理を酒水園で行い、3事業に分けています。

うち、クリーンパークは、平成14年の稼働以来14年が経過し、次の施設の検討時期に入りました。平成39年までの稼働延長が決まりましたが、平成34年の大牟田の発電所閉鎖も決まりRDFの引取先がなくなります。

そこで、主に可燃ごみの処理について、二カ所の施設を視察しました。両施設共に臭気も感じられない新施設でした。

事前に質問文を送り、丁寧な回答をいただいていた訪問でした。3施設の比較表を掲載します。



クリーンパークわかすぎ



施設名 (所在地)	組合名	使用開始年度	処理方式	処理能力 (t/日)	年間処理量 (t/年度)	運転管理体制	人口 (世帯数) H28.11.1 付
1 クリーンパークわかすぎ (篠栗町)	須恵町外二ヶ町清掃施設組合	H14	RDF	177 (59t × 3炉)	45,120	委託	188,861人 (77,730世帯)
2 クリーンプラザふじみ (調布市)	ふじみ衛生組合	H25	ストーカ炉 (全連続)	288 (144t × 2炉)	69,260	委託	414,815人 (207,175世帯)
3 西秋川衛生組合 (あきる野市)	西秋川衛生組合	H26	ガス化溶融炉	117 (58.5t × 2炉)	31,324	委託	106,013人 (46,158世帯)

2 クリーンプラザふじみ (東京都調布市)

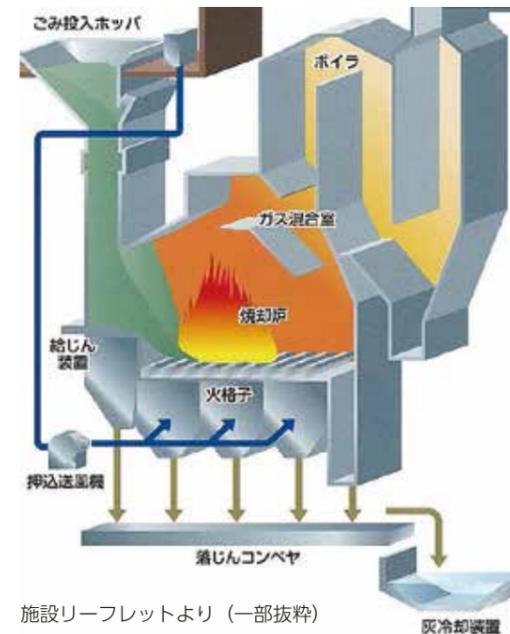
ストーカ炉方式

※ストーカ炉

ストーカ(階段状の火格子)の上でゴミを移動させ、火格子の下から空気を吹き込みながら、乾燥・燃焼・後燃焼と、段階的に燃焼させる方式。

平成25年稼働、2市で対象人口約40万人、全連続ストーカ炉方式です。ゴミは乾燥、焼却されて、灰はセメントの原料などになります。従来通りゴミを燃やす施設ですが、大量に発電することが出来ます。

驚いたことに、市の中心地である、市役所の隣に建設されていました。



施設リーフレットより (一部抜粋)

3 西秋川衛生組合 (東京都あきる野市)

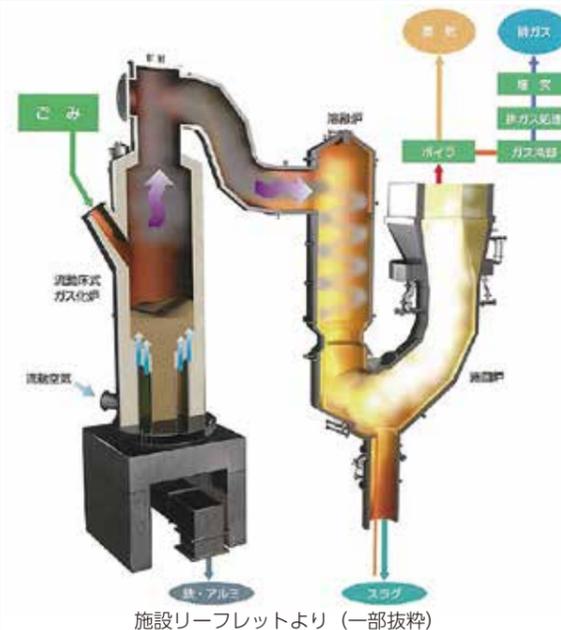
ガス化溶融炉方式

※ガス化溶融炉

ゴミを熱分解によりガス化、そのガスを溶融炉に送り込み、熱分解で残った灰分を溶かす方式。溶かした灰は、溶融スラグといい、土木・建築資材などとして有効利用される。

平成26年稼働、1市2町1村で対象人口約10万6千人、流動床式ガス化溶融炉方式です。灰を溶かしスラグという残渣はブロックや路盤材に使われます。

こちらでは、以前に未焼却で埋めていたゴミを掘り起こし、現在の物に混ぜて処理する事により、最終処分場を平成55年までと大幅な延長がなされています。



施設リーフレットより (一部抜粋)

これからの課題

現在のゴミ処理方式は、前記で紹介したストーカ炉やガス化溶融炉が多く採用されています。

さらに、年々改良されて、より良い技術に進化していきます。したがって、これからの検討は、処理

方法・建設時期およびその設置場所等の選択が最重要課題となります。

それぞれの長所、短所を考慮して、最良の施設が望まれます。

総務建設産業委員会

2月9日(木) 都市整備課の業務調査

計画的なまちづくりを



序に形成される市街地、災害リスクの増大、公害、自然環境の破壊など、さまざまな問題の発生が考えられます。

◇人口流入が続く須恵町

近年、須恵町は人口の増加や、スマートインターチェンジ開通による産業の流入により、活発な都市活動が進んでいます。

町民が、快適で安心して住めるまちであるため、都市計画事業を円滑に進め、現状分析に基づき、見直しを行うっていくことが重要と考えます。

◇町独自の取り組み

また、須恵町では、都市計画において規制できない土地利用等についても、町独自で開発行為等指導要綱を制定し、開発行為等を行うおとする事業者に対し、事前協議と審査を課しています。

年々、共同住宅や宅地分譲などの開発件数が増加する中、よりよい住環境を整備するため、さまざまな取り組みが進められています。

秩序あるまちづくりの基本となる「都市計画」について、所管する都市整備課より説明を受け、意見交換を行いました。

◇まちの発展を計画的に誘導

須恵町は、昭和44年に町全域を都市計画区域に決定し、土地利用の規制(用途地域や地区計画)や、都市施設(道路・公園・下水道等)の指定を行なっています。

都市計画が定められていない場合、道路や下水が整備されず無秩序

委員会レポート

文教厚生委員会

1月25日(水) 住民課の業務調査

健康寿命にフォーカス



がありませんが、近隣町(宇美町や篠栗町など)の施設を地域利用することができません。

◇医療費削減への努力

健康福祉課と連携して、住民健診の受診率向上の取り組みが進められています。受診率は上昇傾向にありますが、今後も早期受診を促し、医療費削減に向けて職員一丸となった取り組みが実施される計画です。

◇マイナンバーカードの普及に

マイナンバーカードの発行数は、約8%にとどまっています。今後、広報紙などにおいて、積極的にPRしていく必要があります。

各担当職員が、自分の業務に対し、しっかりと取り組んでいることがわかりました。議会としても連携を取り、協力していきたいと考えます。

◇健康寿命を延ばすために

高齢者の健康寿命を1日でも長く延ばすためには、健康増進への取り組みが不可欠です。その一つとして、運動器具を利用したトレーニングは有効だと思います。現在、須恵町には器具が設置された施設

議長通信



三角 良人 議長

これを読んで傍聴へ

社会の中では必ず守らなければならないルールがあり、最も大きなものは、日本国憲法です。

その他、法律や条例、また企業や学校、スポーツにおいても、必ずルールが存在し、私たち議員も、議会運営を円滑、効率的に行うために守らなければならないルールがあります。

それぞれの議会において運営が異なるため、独自のルールも存在します。

質疑

議題に供された事件について疑義を質すものや、委員長が審査報告に対する質疑のことです。

質疑は提出者および委員長

に対して行うものであり、疑問点を質すものでなければならぬため、自己の意見を述べることができません。

委員会に付託して審査する場、議案に対する総合的な質疑を行い、詳細な個別質疑は委員会で行うこととなります。

また、質疑は同一議員につき、同一の議題について3回を超えることができません。これは、回数が多い、少ないという問題ではなく、いかに要領よく質疑するかが重要となります。

討論

議題となつている案件に対し、自己の「賛成」または「反対」の意見を表明するもので、意見の異なる相手を自己の意見に同調させようと努めることに意義があります。

そのため、冒頭に「賛成」または「反対」を明らかにし、その理由を明確に述べる必要があります。

討論の回数は、ひとり1回の原則があり、2回以上の討論を重ねると、議論を離れ感情論に流れるおそれ強く、

反復討論はゆるされません。

また、討論の順序は、交互の原則があり、最初に反対者の発言、次に賛成者と、交互に発言することになります。

一般質問

町の一般事務について、議長の許可を得て行い、町の行財政事務全般にわたる議員主導の政策論議です。質問する議員の十分な準備と、執行部の確かな答弁を求めるため、事前通告制を採用しています。

質問の回数は、質疑と同様に3回までで、質問と答弁を合わせ、ひとり1時間です。執行部の答弁に対する疑義を再質問することで、より深い答弁を引き出すことが必要

となります。

となります。

一般質問は、大所高所からの政策を建設的立場で議論すべきであり、内容のある次元の高い質問が必要となります。確認するだけの質問や、根拠なく主観が走りすぎる質問、また政治信条に終始する質問は、一般質問の趣旨から外れ、さらに、要望やお祝い、お礼の言葉を述べることは慎重なものとなります。

その他さまざまなルールがありますが、私たち議員は、議会のルールを熟知し、議員の質を向上し、町民の信託にこたえることができるよう、活発な議会運営を行なっていきたいと思えます。

本会議傍聴のご案内

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議当日に役場4階議事事務局の窓口にお越しください。(予約不要)

議会議場を
生で見て
みよう!



次の定例会は
6月9日からの予定です。

ホームページで本会議の
会議録を公開しています。

須恵町議会 検索

平成23年以降の
会議録を掲載しています。
ぜひご覧ください。



No.36

作・田原ウーコ
1979年須恵町生まれ。イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。 <http://polyworks.jp>

*健康寿命…健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと